

資料 1

白山社のクロガネモチ（はくさんしゃのくろがねもち）

<概要>

本樹は知多郡武豊町の北東部に位置する白山社地内に所在するクロガネモチであり、現在は白山社の所有である。

クロガネモチは、モチノキ科モチノキ属の常緑樹で、葉は革質で楕円形である。裏面をとがったもので傷つけるとそのあとが残るのが他のモチノキ類には見られない特徴である。また、金持ちに通じる縁起木とされ一般的には庭木として用いられ、特に神社等に良く植栽される。

本樹は、樹高約 13m、根囲約 5m、胸高囲約 3mの雌株である。地上約 2mのところから 2 又に分かれている。しめなわを張り、神木とされている。指定当初の昭和 43 年から、老樹であるため葉の出方が少なく樹幹の樹皮がはがれていた。

平成 20 年から、ほとんど葉がでないことから地元による保護活動も行われてきたが、平成 29 年現在、枯死したことが確認された。ひこばえもないことから、県指定天然記念物としての価値を失ったと考えられる。



白山社のクロガネモチ（愛知県教育委員会提供）